

ふれあい

令和4年2月 第428号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)

事務局：大代地区公民館
TEL:022-364-8442
FAX:022-364-8453

【掲載目次】

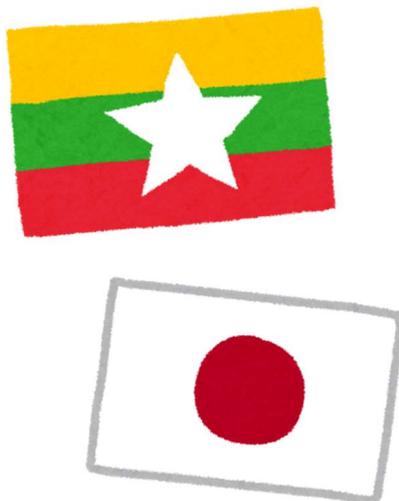
- 多賀城を知ろう（歴史講座）実施・・・2
- 外国人技能実習生と昔遊び・・・2
- ヘラヘラトーク今年も開催！・・・3
- 大代地区公民館利用者アンケート・・・3
- 町内会で情報交換・・・4
- 子ども書道教室を終えて・・・4

多文化共生

外国人技能実習生や地域の方々に
昔遊びを楽しみました



福笑いや双六など、
日本の昔遊びに触れました



多賀城を知ろう（歴史講座）実施

まもなく1300年を迎える多賀城の歴史についての講座「多賀城を知ろう」を12月4日（土）に実施しました。

講師は、多賀城市埋蔵文化財調査センターの大木丈夫さんでした。90分という短い時間でしたが、24名の方々にご参加いただきました。



多賀城碑や末の松山、地元の柏木遺跡など、多賀城について広く学ぶことができました

外国人技能実習生と昔遊び

多賀城市大代地区には、働きながら日本の技術を習得することを目指した外国人技能実習生が住んでいます。大代地区公民館では、こうした地域に住む技能実

習生が地域でもっと安心して楽しく暮らせるよう多文化共生事業を実施しています。その一環として1月10日（月）に「お正月あそびしまししょう！」を開催しました。これは、正月遊びを通して日本の文化を知ってもらったり、地域の人たちと交流してもらったりしようという企画です。



生涯学習100年構想実践委員会が作成した「史都多賀城ふれあいカルタ」はとても大きいので、体育室で行いました

今回のメニューは、カルタ、双六、福笑い、書初め、バドミントン（羽根つきの代わり）です。ミャンマーからの技能実習生12名を含めた40名が各々楽しみました。カルタ、双六は、多賀城市内で様々な学びを通して地域づくりを行っている生涯学習100年構想実践委員会が作成した

ものを使いました。マスや札に多賀城の史跡や行事などが登場し、楽しみながら地域のことを学べました。福笑いでは、上手く出来なくても笑いが生まれるので盛り上がりながらその場にいる人たちが仲良くなるのが出来ました。書初めでは、公民館職員が講師となって「正月」「平和」「未来」といった文字を習い、日本の文化に親しみました。バドミントンは日本の文化というわけではありませんが羽根つきの代わりに実施しました。バドミントンが得意な方に指導を務めてもらい、汗を流しました。



多文化共生事業は、大代地区公民館の他、市民活動サポートセンター、多賀城市国際交流協会、宮城県国際化協会（MI

A)、多賀城市総務部地域コミュニティ課、そして地域の交流サポーターの方たちが協力して実施しています。コロナ禍で交流の機会を持つことが難しくなっていますが、地域住民や団体が協力してこうした場を設け、技能実習生のみなさんにとっても住みよい地域を目指して今後も事業を継続していきます。



会議室で書初めを行う様子。
慣れない書道でしたが、真剣に
取り組まれていました。

ヘラヘラトーク今年も開催！

毎年恒例の「庄司恵子・KASUMIのヘラヘラトーク」が1月15日(土)に多

賀城市文化センター小ホールにて開催されました。今年で7回目となるヘラヘラトークは、山茶花大学後期4回目も兼ねており、大学受講生も参加しました。

宮城県出身の民謡歌手である庄司恵子さんが仙台弁のトークを交えながら民謡を披露します。本格的な歌はもちろんですが、「ヘラヘラトーク」の名前の通り、終始軽快なトークが繰り広げられ、会場は笑いに包まれました。そして、娘さんであるKASUMIさんも出演。力強い歌と津軽三味線、美しい津軽手踊りを披露していただきました。

「ヘラヘラトーク」を通して生の民謡に触れることができ、来場者にとって貴重な機会となりました。また、新年の初笑いになった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。コロナ禍で庄司恵子さんやKASUMIさんの舞台を見る機会は減ってしまっていますが、「庄司恵子とKASUMI(たらさわかすみ)の母娘チャンネル」というYouTubeチャンネルを開設したそうなので、ぜひそちらをご覧ください。民謡の他にも仙台弁での絵本読み聞かせ、旅行のレポート、英語の歌に挑戦などバラエティ豊かです。

大代地区公民館利用者アンケート

12月1日(水)から26日(日)にかけて、大代地区公民館の利用者を対象としたアンケートを実施しました。施設の利用や職員の対応、改善点などを調査し、管理運営に活かすためのものです。今回は198件の回答をいただきました。

施設利用に関しては、満足49%、ある程度満足30%、普通18%、やや不満2%、不満1%となりました。職員の対応に関しては、満足65%、ある程度満足16%、普通17%、やや不満1%、不満2%となりました。いただいたご意見としては、

- ・ 2階へ上がるのが大変。
- ・ 部屋の空気がなく使えない。
- ・ アンケート結果を公表してほしい。
- ・ 消防訓練に緊張感を持ってほしい。
- ・ 暖房器具を整えてほしい。
- ・ 講座の情報を得にくい。
- ・ 掃除が行き届いている。
- ・ コロナ対策を充分していただいている。
- ・ 2階用スリッパが使いやすい。
- ・ 職員の気遣いがあるがたい。

といったものが挙がりました。2階用スリッパは、以前の利用者アンケートを受

けて設置したものでありますので、今回のアンケートにおきましても、いただいたご意見を参考にして可能な限り対応していききたいと思えます。



階段を利用する際にすべりづらい

「2階利用者優先スリッパ」を設置しています

町内会で情報交換

11月19日（金）、多賀城市の地域コミュニティ課による町内会情報交換会が開催されました。市内各地で開催されているのですが、大代地区公民館には大代・笠神エリアの町内会が集まりました。コミ

ユニティ推進協議会もそこに加わりました。自治会運営で困っていることや取り組んでいること、コロナ禍での工夫をテーマに自由に意見交換しました。たくさん意見が出ましたが、中心の話題となるのは担い手についてでした。次の担い手を発掘したくても、働いている人や借家の人にはなかなか役員や町内会のことを頼みにくいそうです。そんな中、サポーター制度を導入したいとの意見が挙がりました。役員まではいかなくても、その人の状況にあわせて出来る範囲で町内会や地域のことに関わってもらおうという制度です。いきなり役職をお願いされるとまどつてしまうかもしれません、自分の生活に合わせて出来ることを少しずつということであれば参加のハードルが下がりますね。

今回の情報交換会では、「困っているのは自分たちだけではないんだ」と町内会同士で分かち合い、「こんなことをやろう」と思っている「うちはこんなことに取り組んでいる」というアイデアを各々が持ち寄る場となりました。こうした機会は大切ですので、今後も定期的に持っていきたいですね。

子ども書道教室を終えて

12月19日（日）、大代地区公民館において子ども書道教室を行いました。講師は公民館職員です。今年のコンクールの課題は3年生が「山川」、4年生が「正月」、5年生が「令和」、6年生が「春風」です。参加者は2名と少なかったのですが、みなさん真剣に取り組んでおり、つい時間をおぼろげに忘れてしまうほどでした。習字をする時間は、学校でも限られており、家でするのも準備が大変で、なかなか手につかないものですが、無理なく続けることで字をきれいに書く習慣や心構えが身につけてきます。次の子ども書道教室での参加をお待ちしています。



参加したのは小学校2年生と5年生。

講師が書いたお手本を見ながら課題に取り組みました。